

令和 3 年度
社会福祉法人かいせい 事業報告書

1 運営の概況

当該年度も、新型コロナウイルスの感染状況が運営全般に大きな影響を与えた。地域で感染が拡大した時期は、感染への不安により長期で通所を控える利用者も増加した。また、授産事業においては、客先に出向いての販売が少しずつ再開しているものの、大きなイベント出店は依然として軒並み中止になるなど販売の機会が大きく減り、売り上げが落ち込んでいる。

支出の面では、感染防止対策のための衛生用品については前年度購入した備蓄分で概ね賄うことができ、今年度の保健衛生費は支出を抑えることができた。職員の人件費についても、職員の入退職や休職者がいたことなどにより支出は減少した。

新型コロナウイルスの感染防止対策には継続して取り組んでおり、法人内や関係機関との会議はリモートを中心として行い、大人数が集まる場面を最小限にしている。利用者向けの行事やレクリエーションについても、感染防止対策を徹底したうえで最小限の内容に縮小して実施した。

当該年度も各事業所がそれぞれ自立した事業運営に努力し、互いに課題を共有しながら、法人全体で連携・協力して運営の安定に取り組んできた。

2 利用状況

通所事業所（就労継続B型および生活介護）においては、新利用者が3名で退所者が2名、法人内の通所事業所間での移動が2名であった。新型コロナウイルスの感染不安により長期で休む利用者が見られたほか、その他の理由で長期に休んでいる利用者も数名いる。通所事業所全体では、一日平均3名の利用減となった。

グループホームにおいては、前年度末に欠員があったが、今年度初頭で満室となり、平均利用者数はほぼ前年度並みであった。

事業所名	かいせい東川 (オリーブ含む)	ふっと	わふと(4住居)
事業種別	就労継続B型	生活介護	共同生活援助
定員数	40名	60名	26名
年度末利用契約者数 (前年度比)	53名 (+1名)	64名 (±0名)	26名 (+1名)
開所日数	242日	242日	365日
平均利用者数 (前年度比)	36.7名 (-1.3名)	45.6名 (-1.7名)	21.9名 (+0.1名)

3 職員配置状況

職員数については、1名の入職、2名の退職があり、総数は前年度末から1名減少した。

	施設長	サビ管	職業指導員	生活支援員	世話人	看護職員	他
かいせい東川	1(兼)	1(兼)	2	4			
Ｌ オリーブ	1(兼)	1	1	1			
ふっと	1	1		12		3	1(嘱託医)
わふと(4住居)	1(兼)	2(兼)		5	8		

年度末時点／総職員数 41 名（前年度末比-1 名）

4 支援業務

(1) 個別支援計画の策定・見直し

- ・事業所全体でサービス管理責任者 5 名（一部の事業所では管理者や支援員と兼務）

(2) 就労支援事業（授産事業）

- ・クッキー、パンの製造販売（かいせい東川）
- ・焼き菓子の製造販売、パンの店の運営（オリーブ）
- ・軽作業、自主製品製造販売（ふっと作業班。生活介護登録者のうち 14 名）

(3) 生活介護事業（ふっと）

創作活動、レクリエーションなど

感染予防のため、外出する活動は自粛。

(4) 居宅支援（グループホーム）

共同生活住居 4 ヶ所を運営。

(5) 健康管理

- ・健康診断の実施（4 月～6 月）： 全事業所（利用者および職員）
- ・インフルエンザ予防接種（職員の接種費用は法人が負担）
- ・嘱託医の訪問（9 月）： ふっと

(6) 安全対策

- ・避難訓練（各事業所で、春と秋に 1 回ずつ。）
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染対策

(7) 環境整備

- ・施設内外の美化と整理整頓： 全事業所

5 就労支援事業（授産事業）

令和３年度から「オリーブ」を「かいせい東川」の従たる事業所としたことにより、収支も両者を合算したものとす。かいせい東川（オリーブを含む）の売り上げは前年度並みを維持したが、コロナ禍の前と比較すると依然として客先に出向いての販売が制限されており、大きなイベント出店も軒並み中止になるなど販売の機会が大きく減り、売り上げが落ち込んでいる。ふっとは下請け作業の減少などにより売り上げが減少しているため工賃額を見直した。

かいせい東川については前年度の工賃水準を維持したが、オリーブはかいせい東川と比較して工賃が高く、両者のバランスを取る意味でも工賃額を見直した。授産設備の維持や購入に費用がかかるため、収支の差額分は設備整備等積立金として将来の支出に備える。

	かいせい東川	オリーブ	ふっと作業班
売上高	13,198,875 円		881,832 円
工賃支給基準	日給 400 円＋賞与 1 ヶ月 (前年度と同額)	日給 600 円＋賞与 1 ヶ月 (前年度は日給 800 円)	日給 300 円＋賞与 2,000 円 (前年度は賞与 3,000 円)
工賃総額	4,152,200 円		656,600 円
収支（積立金へ）	558,235 円		16,905 円

6 委員会

- ・権利擁護委員会<兼>虐待防止委員会

6 回開催。虐待防止マニュアルの改訂、ヒヤリハットおよび事故報告の検討、等。

- ・感染予防対策委員会<兼>防災対策委員会

6 回開催。感染予防対策について、事業継続計画(BCP)の策定、マニュアルの見直し、等。

7 実習生・ボランティアの受け入れ

社会福祉士実習生： 北海道教育大学函館校 2 名、西野学園通信課程 1 名

介護実習生： 臨床福祉専門学校 2 名

8 職員研修

新型コロナウイルスの影響により、リモート開催など感染防止対策を行ったうえでの実施。

- ・施設内研修「障がい者の虐待防止と権利擁護」（7 月） 26 名参加
- ・施設内研修「成年後見制度について」（9 月） 24 名参加
- ・施設内研修「パワーハラスメント防止」（11 月） 24 名参加
- ・施設外研修「相談支援従事者研修（サビ管向け）」（7 月） リモート開催、2 名参加
- ・施設外研修「北海道サービス管理責任者研修～更新研修」（2 月） リモート開催、1 名参加

- ・施設外研修「幹部職員研修会」（１０月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、３名参加
- ・施設外研修「権利擁護セミナー～相模原障害者施設殺傷事件を振り返る」（１１月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、３名参加
- ・施設外研修「障害者虐待防止・権利擁護指導者養成講座」（１２月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、１名参加
- ・施設外研修「全道施設長研修会」（２月）
北海道知的障がい福祉協会主催、リモート開催、３名参加

9 補助金等

- ・この福祉支援基金（函館市身体障害者福祉団体連合会）
かいせい東川：２９２,７６５円
授産事業で使用するコーヒー焙煎機など製造販売に必要な機器・備品一式
- ・感染防止対策支援事業支援金（北海道）
かいせい東川：７,０００円、ふっと：１４,０００円 グループホーム：７,０００円

10 主な行事

- ・ウェルフェアまつりは感染拡大防止のため中止
- ・事業所ごとの利用者自治会は、内容を制限して実施